

エコネット応援団に参加していただくと、こんなことができます。

■木曽三川流域生態系ネットワークのホームページに、応援団参加団体名を掲載します。<<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/econet/>>



応援団
リスト

■木曽三川流域の生態系ネットワークや指標種などを紹介するパネル・ポスター等*2を貸し出します。各種展示会・学習会等でご活用ください。

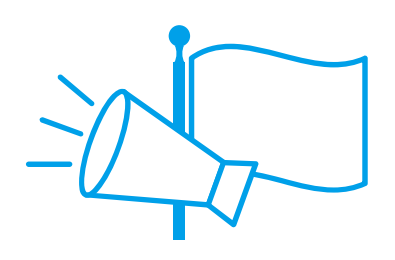


■各団体の活動を、ホームページやニュースレター『木曽三川流域 ECONET NEWS』などで紹介させていただくことができます。*1



活動の
告知・紹介

■資料配布や活動場所の紹介など、エコネット応援団の皆さんの活動を支援します。ご協力できることには限りがありますので、個別にご相談ください。



■木曽三川流域のエコネット関連情報を年数回お送りします。(事務局から郵送や E-mail でニュースレター等の資料が届きます。)



【ご意見・ご要望をお寄せください】
エコネット応援団の取り組みについて、「〇〇を手伝ってほしい」、「みんなで〇〇がしてみたい」などのアイデアがあれば、事務局までご提案ください。

例えば…
●意見・情報交換会や発表会など、団体同士の交流機会はないの？
●イベント開催情報などがすぐに相互発信できるサービスはないの？
●こんな資料やあんな資料の貸出しはないの？
…など

※「エコネット応援団」に参加された団体（および各団体で実施される活動）に対し、事務局が評価を加えたり、活動を制限したり、新たな活動を強制することはありません。
※現在、「エコネット応援団」は、木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会関係者（応援団含む）の推薦を受けた団体を対象に、協議会における確認を経て参加登録させていただいています。詳しくは、下記事務局までお問い合わせください。
※2018年3月現在、64団体に「エコネット応援団」に参加いただいています。最新の情報はホームページ(下記URL)でご確認ください。

*1 各団体の活動紹介の公表（ホームページ等掲載）にあたっては、事前をお願い連絡をいたします。
*2 2018年3月現在、貸し出しを行っている資料は次の5種類です。①木曽三川流域生態系ネットワークの概要（4枚組）／②私たちは「木曽三川流域生態系ネットワーク」を応援しています（参加証）／③イタセンバラってこんな魚／④ハリヨってこんな魚／⑤水そうの中にイタセンバラがいます（展示用）



facebookページはこちらからアクセス！
<https://www.facebook.com/kisosanseneconet/>



木曽三川流域のエコロジカル・ネットワーク形成の指標種の一例



イタセンバラ

二枚貝に産卵するタナゴとよばれる魚のなかまです。濃尾平野を含む国内の3つの地域だけに分布する希少種で、国の天然記念物にも指定されています。木曽川のワンドで確認されており、氾濫原環境のシンボルです。



ハリヨ

ひれの一部がトゲ状になったトゲウオ類のなかまです。国内の自然分布域は2箇所のみといわれ、なかでも岐阜県の生息地は世界最南端に位置します。湧き水を水源に持つ冷たい水域に生息する湧水環境のシンボルです。



ナゴヤダルマガエル



ゲンジボタル



コアシサシ



カワラサイ

木曽三川流域生態系ネットワーク <<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/econet/>>

木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会事務局：国土交通省 木曽川上流河川事務所 流域治水課（岐阜県岐阜市忠節町5-1/tel.058-251-1125）



木曽三川流域 エコネット・応援団

とは？

木曽三川流域における生態系ネットワーク形成に取り組む・参加する・協力する・賛同する地域の皆さんを「つなげる」取り組みです。



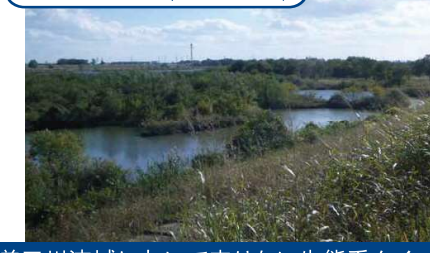
川とともに育まれてきた流域の自然や文化を保全・活用し、地域の魅力を向上させるとともに、人と自然・人と人との絆を深めることを目的とし、平成26年（2014年）、流域の市民・自治体・有識者・河川管理者による「木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会」が設立されました。

同協議会のもと、自然環境を保全・再生・創出してつなげる「生態系ネットワーク形成」に関連する活動を行う、地域のさまざまな団体に参加いただく「木曽三川流域エコネット応援団」を結成しました。応援団の皆さんの情報共有を図り、地域の交流・協働を促進し、取り組みのさらなる発展を目指していきます。

扇状地エリア（礫河原など）



氾濫原エリア（ワンドなど）



湧水帯エリア（湧水池など）



木曽三川流域において守りたい生態系タイプの例



河川流域では、上流山地から河口までつながる河川水系を軸として、周辺には水田や水路・ため池・湖沼等の水辺環境が広がり、それらを利用する人びとが暮らしています。木曽三川流域では、ハリヨなどがすむ湧水帯エリア、コアジサシなどがすむ扇状地エリア、イタセンパラなどがすむ氾濫原エリアなど、それぞれ特徴を持ったいくつかのタイプの生態系が形成されており、それらを活かした歴史・文化が成り立っています。木曽三川流域生態系ネットワークでは、自然や文化を守り・育てる活動をエリアごとに促進していくことで、流域全体の生態系サービスを向上させることを目指しています。

美しい水と緑に恵まれた木曽三川流域ではすでに、地域の人びとや行政機関（またはそれらの協働）により、自然環境の保全・再生・創出に関するさまざまな取り組みが進められてきました。「木曽三川流域エコネット応援団」は、こうしたさまざまな活動を行う皆さんの集まりです。今後、これらが、協力しあったり、影響しあったりすることで、さらに大きな効果が生み出されるよう、人と地域をつないでいきたいと考えています。



池干しや外来魚駆除等による身近な環境の保全管理【東海タナゴ研究会】

タナゴ類の生息場となっている水田・水路・ため池等において、自然環境や地域社会に関する調査・研究などに取り組んでいます。東海地方を中心に、地域協働による池干しや外来魚駆除等の保全管理活動も実施しています。



計画策定によるハリヨ生息地保全【海津市 社会教育課】

市内のハリヨ生息地（国の天然記念物）を後世に引き継ぎ、地域の魅力向上にもつなげていくと、「保存管理計画」を策定しています。生息場管理や調査等の対策は、専門家や地域の高校、市民の皆さんとも連携・協力しながら進めています。



絶滅危惧イタセンパラの種の保存に貢献【世界淡水魚園水族館アクア・トゴ】

環境省が行う絶滅危惧種の域外保全事業の一環として、国内数力所で行われるイタセンパラの保護増殖を実施しています。館内では保護個体の一部を季節限定で展示しています。（写真は施設見学の様子。）



社有地内の湧水を活用したハリヨ池の整備等【中日本水糖株式会社】

社会貢献の一環としてさまざまな環境保護に取り組むなか、ハリヨの保護にも注力しています。社有地内の湧水地をハリヨがすめるよう整備し、維持管理（水路や池の清掃）を行うとともに、地域の高校生と協働で環境調査も実施しています。



人工林の間伐により森林環境の整備等を実施【NPO法人水とみどりを愛する会】

中部電力グループ企業の従業員・OBを中心とするNPO法人で、木曽三川流域を含む中部地方の森林保全に広く取り組んでいます。間伐による環境整備のほか、地域の小学生を対象とした体験学習なども行っています。



多様な生物のすむワンド環境の整備【国土交通省木曽川上流河川事務所】

イタセンパラや二枚貝等の多様な生物の生息・生育場となっている、木曽川中流部のワンド環境を保全・再生するため、環境整備工事（ヘドロの浚渫、樹木の伐採等）を実施しています。（写真は地元小学校による工事見学の様子。）



地域の宝ものを学ぶ「イタセンパラ塾」【羽島市 生涯学習課】

羽島市内に生息するイタセンパラを市民の皆さんに知ってもらい、身近な自然を守る気持ちを育ててもらおうと、毎年「イタセンパラ塾」を開催しています。地域のことがたくさん学べるよう、木曽三川の治水の歴史なども紹介しています。



50余年の活動実績を地域の学習機会へと活かす【ハリヨを守る会（池田町）】

昭和42年（1967年）に地域の有志で結成し、ハリヨ繁殖地の保全や生物調査を続けてきました。近年では、地元高校生と共同作業を行ったり、小学生向けの勉強会を開催するなど、子ども達へ自然の大切さを伝えています。



人と川との関わりを地域に伝える【一宮市 尾西歴史民俗資料館】

木曽川と所縁の深い起宿の歴史とともに、川の生き物について学ぶことができる展示や講座を行っています。木曽川やイタセンパラに関する研究資料に焦点をあてた企画展「木曽川子どもユニバーシティ」も開催しました（上写真）。



受け継がれる調査研究がハリヨ保全につながる【大垣東高校理科数科ハリヨ班】

平成17年（2005年）より現地調査を継続しており、蓄積されたデータから、自然生息地の環境変化を分析するなどの研究を進めています。ハリヨや地域環境の保全へとつながるよう、学会やシンポジウム等での成果発表も行っています。



カスミサンショウウオを絶滅から守る保護・研究活動【岐阜高校自然科学部生物班】

希少なカスミサンショウウオを守るため、生息地の環境整備、卵のうの保護・飼育・幼体放流等の保護活動や、遺伝的多様性の研究等を研究機関や自治体と連携しながら継続しています。また、学会発表や地域啓発にも努めています。



河川と水路・水田のネットワーク再生のための技術研究【岐阜県水産研究所】

広大な水田地帯を有する岐阜県において、地域の生物保全やよりよい農業の発展につなげていくと、河川から水路・水田へと魚類等が行き来できる環境の再生（魚道整備による落差改善等）に関する研究を進めています。



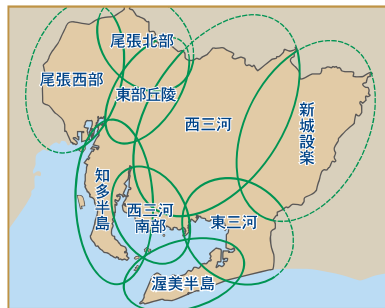
多様な活動をクラウドファンディングでサポート【一般社団法人ClearWaerProject】

世界中の人びとが、インターネットを介し、日本国内の河川流域で活動する団体・企業を、主に費用面で支援できる仕組み「カワサポ」<<https://www.kawa-supporters.net/>>によって、広くさまざまな取り組みをサポートしています。



地域と企業のパートナー協定で森づくりをサポート【岐阜県 恵みの森づくり推進課】

岐阜県では県内に広がる森林環境を守りながら活かす「恵みの森づくり」を進めています。「企業の森」では、参加企業と地域活動とのマッチングなどの支援を行っています。（写真は「コープぎふの森・関」での活動例）



「あいち方式」による取組の推進【愛知県 生態系ネットワーク協議会】

愛知県では、多様な活動主体が共通目標に向けて参加・協働する場として、県内9地域で生態系ネットワーク協議会を設置しています。それぞれ地域特性を踏まえて、独自性のある取組を展開しています。



イタセンパラの認知度アンケートで地域へ情報発信【木曽川高校総合実務部】

イタセンパラの飼育や保全に関するさまざまな活動を行っています。保護啓発を兼ねた地域住民への認知度アンケート（29歳以下の認知度が低い等）や、密漁防止のパトロールなど、情報発信にも注力しています。



湧き水マップの発信で楽しい町あるきをサポート【大垣市 環境衛生課】

豊かな湧水とそれらに育まれた生物の保全に取り組み「水の郷」に認定されている大垣市では、市内に数多くある井戸等を楽しめるマップにまとめています。水の恵みを活かしてつくられる「おいしいもの」も紹介しています。



希少魚を「身近にみられる魚」にした水そう展示【三井住友信託銀行 一宮支店】

さまざまなCSR活動のひとつとして、イタセンパラ保護を通じた教育に取り組んでいます。子ども達が活用できる学習用ビデオ教材の作成のほか、地域の皆さんが郷土の自然にふれるきっかけになればと、店舗での生体展示も実施しています。